

●連載 No.13●

こうなる! 小中一貫教育



文教の里：多久「学校に行くなら多久 教育するなら多久」

平成25年度開校「小中一貫校のスタート」に向けた取り組み

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

9月議会で新たな学校名が決定!!

9月議会で、小中一貫校の新たな学校名が議決されました。今後、子どもたちに、市民に愛される・親しまれる学校づくりを推進するため「学校名の愛称」も作り上げていきます。

【小中一貫校学校名】

- 多久市立 中央小学校・中央中学校（小中一貫校中央校）
- 多久市立 東部小学校・東部中学校（小中一貫校東部校）
- 多久市立 西溪小学校・西溪中学校（小中一貫校西溪校）

【小中一貫校の校舎等の建設状況】

中央中学校の南側には現在、新小学校の校舎・体育館・プールの工事が着々と進んでいます。

また、校舎一体型となる東部中学校・中部小学校の校舎増改築も着々と進行しています。

8月下旬には中央中校区小学校の先生が、新小学校の建設現場にてモデル教室等を見学しました。



▲写真は、小中学校の先生が共に入る職員室の工事現場です。

【統合の歴史】

来年4月の開校に向けて進む小中一貫校。これまでの市内学校の統合の歴史について振り返ってみましょう。

S41.4	中部中と西部中が統合して「西溪中」開校
S58.4	北部中と南部中が統合して「中央中」開校
H20.3	南部小南溪分校が開校
H25.4	市内3中学校区で小中一貫校開校 ・北部小と緑が丘小と南部小を新小学校に再編し、中央中と小中一貫校 ・東部小と納所小を新小学校に再編し、東部中と小中一貫校 ・中部小と西部小を新小学校に再編し、西溪中と小中一貫校

郷土の偉人を通じた

特色ある教育を実践しています!!

多久市教育委員会では、さまざまな教育分野の教育実践資料や研究紀要などを作成し、新たな教育への準備を進めてきました。

多久の偉人や歴史、風土、産業、農産物や特産品などを小冊子にまとめた『多久学のすすめ』や学校教材として作成された『わたしたちの多久市』や郷土の偉人に着目した『郷土の偉人伝』、社会科の教材として作成された『五賢人』、『郷土の偉人』など多岐にわたり、どれも分かりやすく学べる内容となっています。

※今月号では、『郷土の偉人伝 志田林三郎』を紹介します。



『郷土の偉人伝 その1 志田林三郎』(マンガ版)

出版：多久市教育委員会
著者：武富 秀之
出版年：平成10年3月
※市立図書館で貸し出しをしています。

この本は、志田林三郎の生涯をマンガで綴ったものです。日本初の工学博士として知られる志田林三郎が東原庫舎で学んだ幼少期の逸話や、社会人として英国のケルビン卿のもとで電気工学の研究に励み、帰国後に日本電気学会を設立するまでの過程がいまききと描かれています。

その家族や友人、恩師との交流の中で成長し、研究に没頭することで、百年後の今日の高度情報化社会到来を予見するに至った林三郎の努力、出会った人たちに支えられ、励まされ、人と人を結ぶ世界を創るきっかけとなったその経験や林三郎の人となり学ぶことができます。

10月の定例教育委員会は11日(木)

時間 13時30分～

場所 市役所2階 第2委員会室(傍聴は自由です)

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450